

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	北陸地域の活性化に関する研究助成事業	事業区分	助成(応募型)		

1. 事業目的

近年、地域の課題は地域で解決しようと様々な取り組みが進められている。北陸地域においても、これまで以上に地域づくりのあり方が問われ、地域の保有する多様な資源やノウハウを活用して地域の活性化を図ることが求められている。このため、地域における問題意識を共有したうえで、地域に住む人々の英知や発想を活かし、多様な研究や活動を支援することにより地域の自立と活性化を促進する目的で実施する。

2. 事業実施体制

主催：一般社団法人 北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

1. 第18回事業論文集発刊

- ・平成26年4月、平成25年度助成分の研究助成事業論文集を発刊。
- ・当会ホームページに掲載。

2. 第19回事業報告会

- 日時：平成27年3月13日(金) 13:30～17:15
- 場所：チサンホテル&コンファレンスセンター新潟
- 参加者数：約90名
- ・報告書は平成27年4月「論文集」としてまとめ発刊予定。

3. 第20回事業募集・審査

- 募集期間：平成26年12月1日～平成27年2月2日
- 応募件数：「地域づくり研究事業」37件
- 「技術開発支援事業①技術開発」14件
- 「技術開発支援事業②共同研究」9件
- 審査日：平成27年3月13日(金)
- 審査委員：中島太郎(前新潟県立歴史博物館館長)委員長ほか6名
- 選定件数：
 - 「地域づくり研究事業」(書類審査のみ) 13件
 - 「技術開発支援事業①技術開発」(書類審査のみ) 3件
 - 「技術開発支援事業②共同研究」(書類+プレゼンテーション審査) 2件

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

平成7年度の事業開始以来、第19回まで226課題に対し助成を行ってきた。その中では、助成を契機に組織を発展させ継続して地域づくりに尽力している団体や、地域・海外から表彰される取り組みもあり、本事業は一定の効果を挙げている。第19回報告会では、参加者にアンケートを行った結果、回答者49人中、15人が「大変良かった」、29人が「良かった」と、満足度も高かった。中でも、地元小学生も現地調査に参加したユニバーサル観光アプリ開発事業など、地元住民と一緒に課題解決に取り組む事業への関心が高かった。近年は応募者が減少していたが、20回募集においては助成数を増やし、応募条件の緩和を図った結果、前回比25%の増となった。



第18回論文集



左：第20回審査委員会
下：第19回報告会

第20回募集案内
ホームページ

「北陸地域の活性化」に関する研究助成

第20回「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業 募集開始

～夢を叶える地域に夢が生まれます～

第20回(平成27年度)「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業 <募集開始>

【一瞥】北陸地域づくり協会が、地域に住む人々の英知や発想を活かした多様な研究や活動を支援することにより地域の自立と活性化を促進する目的で、平成7年度から「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業を行っています。平成27年度も引き続き事業を実施します。

【支援対象】所在地を大卒もしくは高専を含む2つ以上の機関

募集の応募をお待ちしています。

募集期間：平成26年12月1日(月)～平成27年2月2日(日)

対象分野

- A 観光・レジャー・リゾート
- B 安全・安心な地域づくり(防災等は除く)
- C 産業振興(特産品振興)
- D 行政と市民の協働(「暮らしの安心」)

助成事業の種類	募集期間	募集枠数	助成額(単位:万円)	1回あたりの募集枠数	募集回数	募集状況
地域づくり研究事業	毎日0時～24時	20～50万円	9	12	13	募集完了
技術開発支援事業	1時～2時	20～50万円	2	3	3	募集完了
共同研究	2時～24時	200～200万円	2	2	2	募集完了



立山カルデラ「語り部」育成
現地研修



長野ユニバーサル観光
アプリ開発現地調査

